

# 第1学年 数学科学習指導案 (TT)

単元名 「文字の式」

本時の学習

- (1) 本時の目標 数量を式で表すよさがわかり、式の意味を説明することができる。
- (2) 本時の展開

| 展開   | 時間 | 学習活動  | 学習形態     | 主な発問(◎)や指示(○)と予想される生徒の反応(・)   | 教師の支援と評価   |  | 準備物                       |
|------|----|---|----------|---|--|--|---------------------------|
|      |    |   |          |   | T1   | T2   |                           |
| つかむ  | 5  | 1.題意をつかむ。<br><br>20台のときは何人だろう                             | 個        | ◎机を2台並べたときにすわることができる人数は何人かな?<br>・8人<br>◎机が5台のときの人数は何人かな?<br>・14人<br><br>めあて すわることができる人数を求める方法を考えよう。   | ・支援が必要な生徒に声かけをする。  | ・興味をもって取り組めるように、身近な例を示しながら問いかける。(写真)<br>・題意をつかむことができるように、視覚的支援を行う。 | 実物投影機<br>写真<br>マグネット机イラスト |
| さぐる  | 7  | 2.20台のとき、計算して求められる方法を考える。<br>(1)自力解決をする<br><br>(2)考えを発表する | 個        | ◎20台のときの人数は何人だろう。<br>・図に表して数えてみた<br>・式ができるかな<br>・ヒントコーナーへいこう<br>○自分の考えをノートに書こう<br>○自分の考え方を友達に伝えよう<br>・私は・・・で求めました。<br>○自分の考えを発表しよう<br>Aさん…図に表して数えた。<br>Bさん…計算で導いた。<br>・ $2 \times 20 + 4$   | ・すぐ人数がわかった生徒にも、他の方法がないか考えるように促す<br>・求め方の分類をし、着目したい式を書いた生徒がいるか確認をする。<br><br>・友達と同じ説明であっても、必ず自分で声に出して説明するようにする。            | ・ヒントコーナー支援が必要な生徒に助言を行う。  |                           |
| ふかめる | 10 | 【言語活動】数理的に考察し、数式に表すとともに、数式に用いた数の意味を言葉に表す。                 | ペア<br>一斉 | ◎Bさんが表した式はどんな意味だろう。<br>・2は、机1台の上下の人数だね。<br>・20は机の台数だよ。<br>・4は机の左右の人数かな<br>◎机が2台(5台)でも人数があうかな<br>・ $2 \times 2 + 4 = 8$<br>・ $2 \times 5 + 4 = 14$<br>◎並んだ式をみて気付いたことはないかな<br>・机の台数だけ変わっていて他は同じ数<br>◎もう少しすっきりした書き方がなかったかな<br>・文字を使う<br>◎文字で表すことのよさはなんだろう。<br>・机の台数が変わっても人数が分かる<br>・机の台数が多くても大丈夫 | ・言葉での発表だけでなくイラストに指さしをさせながら確認を行う。<br><br>・他の台数でも成り立つことを確認する。<br><br>・変わるもの、変わらないものに着目させる。<br><br>・自分の考えをすぐに声に出さないように声かけする | ・自信がもてない生徒の発表を促す。<br><br>・支援が必要な生徒に声かけをする。                         | ホワイトボード<br>実物投影機          |
| まとめ  | 3  | 4.学習のまとめをする   |          | ○学習のまとめをしよう。  | ・できるだけ生徒の発言を用いてまとめる。   | ・支援が必要な生徒に助言を行う。   | スクリーンワークシート               |
|      | 10 | 5.適用問題に取り組む   |          | ○問題を解いて、今日の学習を確かめよう。  | ・数量を式で表し、各数が何で表しているのかを表現させる。   | 〈評価基準B〉文字を使った式について、各数が何を表すかを書いて表したり、説明したりしている。(発表・ノート・適用問題)        |                           |